

令和6年12月28日

【東北町教育委員会】
校務DX計画

東北町では、町内学校にタブレット端末を配備し、デジタルドリルの活用など校務のデジタル化を行ってきた。しかし現在でも教職員の負担は大きく、デジタル化が必要な業務が多く存在している。東北町では校務DX化へ向けて以下に重点を置き整備していく。

1. 校務系・学習系ネットワークの統合

現在町内学校では、ネットワークが分離しており、別端末を使用している。そのため教職員は2台の端末を使い分けながらデータ管理や端末の管理を行っている。回線を統合し、端末を一台化することで、教職員の負担が軽減される。

2. 校務支援システム導入

青森県内で統一する方針のためそれに準ずる。

町内のネットワーク環境、規模、運用携帯の把握を行う。また教職員の負担を軽減させるためにもクラウド版を利用する。

3. 学校・保護者間の連絡手段の確保

基本メール・電話での連絡が主であり、緊急時は町の防災メールにて教育委員会及び各学校より保護者への連絡を行っているが、保護者からの連絡手段が電話のみに限られているため今後相互に連絡が取りあえるような形態を検討する。また「スクリレ」を利用しているが機能は学校から保護者への連絡、保護者から学校へは出席の有無に限られている。学校と保護者の双方の活用に適したソフトを選定する。

4. FAX及び押印の見直し

町内学校では今でも紙媒体の資料が多く存在し、押印や署名が必要な書類等も多いためデジタル化を大きく阻害している。業者との救急時のFAX利用の場合などを除き、FAX利用や押印書類の軽減を行うため行政機関や関係業者への見直しを依頼する。

5. 教育情報セキュリティポリシーの見直し

平成22年度に「東北町情報セキュリティポリシー」を策定して平成30年度に内容の一部を変更しているが、それ以降の改正は行っていない。これから東北町の実情に対応したものとなるように国や県の方針を把握しながら、随時内容の精査・改正を行う。